

令和6年度 学校関係者評価報告書 空欄「4～5」に記載をお願いします。「4」は数値に○、理由を数値下にお書きください。

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	①基礎・基本の確実な定着 個に応じた指導 ②思考力・表現力・判断力の育成 探求的な学びの推進 ③カリキュラム・マネジメントの確立 言語能力の育成	①社会性の育成 ②他者を思いやる心の育成 ③福祉教育の推進 ④道徳教育と「特別の教科 道徳」の充実	①「ヘルシースクール」の推進 体力向上、食育、基本的生活習慣、安全 ②保健・体育授業の充実	①保護者・地域との積極的な連携 ②地域とともに進行する学校環境の整備 ③安全・安心な学校づくりの推進
2	現状と課題	6学年力テストでは、全国平均と比べ、算数は同等、国語がやや低かった。国語においては、特に記述問題に課題がある。算数においては、単純な計算の正答率は高いが、思考力を問う問題に課題がある。	・登校時に挨拶をする児童は増えているが、積極性が課題となる。 ・互いの良さを認め合う姿勢は高く、責任感のある児童も多い。 ・いじめについて重大事案はないが、相手の気持ちを考えた言動を今後も継続的に大切にする。	・運動、生活や食習慣は概ね良好であるが、季節や状況により生じる波の減少が課題である。 ・安全への意識は高い児童が多い。今後も、日常的な小さな防衛にも努めていく。	・地域の人材や保護者ボランティア等を活用する活動を行うことができた。また、体験的学習を増やすこともできた。 ・多様な教育的ニーズに対応し、その質的向上を図り、取組を周知していくことが課題である。
3	具体的な方策	・自分の考えを持ち、交流を通して自分の読みを深める授業づくり ・4、5年で少人数指導教員を活用した算数の習熟度学習を実施 ・教科担任、交換授業を実施し、複数教員による多視点での指導 ・図書館活用の推進(読書月間の充実) ・ICT機器活用の推進	・代表委員による挨拶運動の実施 ・年3回、生活アンケートを実施し、いじめの早期発見、対応に努めた。学校支援実践講座の実施 ・車椅子やアイマスク体験等、人権教育の継続 ・道徳の時間の確保。道徳の授業参観の実施	・アスリートの出前授業の活用 ・健康診断のフィートバック ・保健講演会の実施(睡眠について) ・みなみタイムによる、外遊びの励行 ・スポーツ委員会による、体力向上旬間の実施 ・給食指導の充実	・地域人材や保護者等の、行事へのボランティア参加 ・外部機関や出張授業等の積極的な活用 ・教育相談週間の設定 ・スクールカウンセラー及びゆとり相談員との連携の強化 ・ワールド学級の教育活動の充実
4	達成状況 5:十分達成できた 1:全くできなかった	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
	評価 4	評価 4.4	評価 4.5	評価 5	
5	学校への意見				